

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏 名 大島 寿美子

主査 小山 司
審査担当者 副査 玉城 英彦
副査 寺沢 浩一
副査 櫻木 範明

学 位 論 文 題 名

Survivorship care after gynecological cancer: a qualitative study exploring experiences and perspectives of patients and specialists on post-treatment follow-up

(婦人科がん術後のサバイバーシップケア：術後フォローアップに対する患者と医師の意識に関する質的研究)

本研究は、本邦では数少ない婦人科がんにおけるサバイバーシップケアについて検討したものである。一次治療を終えたがん患者にどのような術後ケアを提供すべきか、どのような医療システムの構築が必要かについて先進各国で少しずつ検討がされるようになってきたが、婦人科がんのフォローアップケアのあり方について、医療の受益者、医療の提供者のどちらの視点からもまだ本格的な検討がなされていない。本研究では、サバイバーと専門医を対象にグループ及び個別のインタビュー調査を行い、術後フォローアップケアに対する両者の意識と経験を構成する概念を抽出した。

質疑応答では、櫻木教授から女性特有の問題とサバイバーシップケアにおける患者会の役割について質問があった。次いで寺沢教授からグループインタビューと個別インタビューを使い分けた理由について質問があった。また、玉城教授からは本研究の strength と limitation、対象者の代表性、日本人に特異的と思われる発見について質問があった。最後に小山教授から海外のサバイバーシップケアの動向と日本の臨床に対する本研究の成果の応用について質問があった。

いずれの質問に対しても、申請者は自身の研究から得られたデータや分析結果、先行研究などを引用して適切に回答した。

この論文は国際的にも数少ない婦人科がんのフォローアップケアについて検討し、本邦においては他のがんのサバイバーシップケア研究のモデルになる研究として高く評価され、今後の基礎となる研究として期待できる。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。